

平成27年度事業報告について

I 公益目的事業

A 調査研究事業

1 研究大会（新潟大会）

趣 旨 全国の公立文化施設の関係者が一堂に会し、当面する諸課題について研究討議することにより、施設の円滑な運営と積極的な活動に資するとともに、地域の文化芸術の振興を図る。

主 催 公益社団法人 全国公立文化施設協会
公益社団法人 全国公立文化施設協会 関東甲信越静支部
新潟県公立文化施設協議会

後 援 文化庁、新潟県、新潟市

助 成 公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団
新潟県

公益財団法人新潟観光コンベンション協会(新潟市)

協 力 新潟市文化・スポーツコミッション

期 日 平成27年6月4日(木)・5日(金)

会 場 新潟県民会館
新潟市民芸術文化会館 りゅーとぴあ

参加者 公立文化施設の関係職員、地方公共団体文化行政担当者、その他公立文化施設の事業及び運営に関心のある者等 314名

研究大会日程

第1日目 【6月4日(木)】

内 容	時 間	会 場
協賛企業各社による公立文化施設関連機器・サービスの展示	14:15～14:45	小ホールホワイエ
分科会（3部会討議）		
●第1分科会（業務管理部会） テーマ：「公立文化施設の施設維持管理について」～大規模改修、老朽化対応を含めた、これからの文化施設のあり方について～ ① 講演 本杉 省三（日本大学教授） ② パネルディスカッション	14:45～17:45	新潟県民会館 小ホール
●第2分科会（自主文化事業部会） テーマ：「劇場・ホールによる地域社会貢献活動（社会包摂等事業）の具体的事例研究と今後のあり方について」 ① 基調講演 衛 紀生 （可児市文化創造センター館長兼劇場総監督） ② パネルディスカッション		りゅーとぴあ 能楽堂

<p>● 第3分科会 (技術部会)</p> <p>テーマ：「改修時における「電源」の重要さの再認識と、インバーターノイズとLEDノイズの留意点」</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>第一部 小屋の生命線「電源」を考える～公演時におけるトラブルノイズその傾向と対策～</p> <p>第二部 「インバーターノイズ」～発生してしまったら？ 発生する前に？～</p> <p>第三部 周辺地域まで巻き込む大混乱になる可能性も・・・導入時に正しい知識が重要となる「LEDノイズ」への対策</p>	14:45～17:45	りゅーとぴあ スタジオA
移動とエクスカージョン	17:15～18:30	ピア万代
情報交換会	19:00～20:30	ホテル イタリア軒

第2日目 【6月5日(金)】

内 容	時 間	会 場
3分科会報告 専門委員会発足報告	9:30～10:00	新潟県民会館 小ホール
文化講演 (対談) テーマ「地域のホールとプロオーケストラの提携から生まれた事業」 講 師 (公財) 東京交響楽団 専務理事 楽団長 大野 順二 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館事業企画部 寺田 尚弘	10:10～11:10	
舞 踊 公 演 出 演 : Noism2 演 目 : ユルリ島の馬 芸 術 監 督 : 金森 穰 演 出 振 付 : 山田 勇氣	11:20～11:55	りゅーとぴあ 劇場
閉会式 閉会あいさつ (新潟県民会館館長) 次期開催県あいさつ (函館市民会館館長)	12:05～12:15	新潟県民会館 小ホール
協賛企業各社による公立文化施設関連機器・サービスの展示	12:15～	小ホールホワイエ

2 専門委員会活動状況

(1) 平成27年度専門委員会新組織発足について

- 平成27年2月17日 第3回理事会 ・専門委員会規程の可決
平成27年5月20日 第1回理事会 ・専門委員会規程の改正
・委員長、副委員長、幹事の選任・承認
平成27年6月 3日 専門委員会 準備会(幹事会)開催
平成27年6月 4日 専門委員会 全体会及び部会開催

(2) 幹事会

- 第1回(準備会) 平成27年6月3日(水) 新潟県民会館 2階 第2会議室 委員8名
・専門委員会の発足について(報告)
・専門委員会発足関係会議
・専門委員会規程
・今後の予定
- 第2回 平成27年10月27日(火) 東京文化会館 4階 中会議室1 委員8名
・専門委員会規程の一部改正
・専門委員会全体の活動状況報告
・専門委員会の検討事項の明確化について
・平成28年度研究大会分科会実施概要
・今後の運営等
・幹事会検討事項
- 第3回 平成28年2月2日(火) 東京都中小企業会館 8階 C会議室 委員8名
・専門委員会全体の活動状況報告
・専門委員会組織の一部見直しについて
・平成28年度研究大会分科会実施概要
・今後の運営等

(3) 全体会

- 第1回 平成27年6月4日(木) 新潟県民会館 2階 第1会議室 委員25名
・専門委員会の発足について
・部会長の選任について
・理事会諮問事項について
・委員会、部会の運営について
・今後の予定

(4) 人材養成部会

- 第1回 平成27年6月4日(木) 新潟県民会館 2階 第3会議室 委員10名
・部会発足、運営について
副部会長選任、部会検討事項、業務分担、運営事項、今後の予定
- 第2回 平成27年10月27日(火) 東京文化会館 4階 中会議室2 委員10名
・理事会審議事項、報告事項(専門委員会規程一部改正、活動状況)
・部会検討事項
・平成28年度研究大会分科会テーマ、実施概要
・今後の運営、事務分担
- 第3回 平成28年2月2日(火) 東京都中小企業会館 8階 A・B会議室 委員10名
・理事会報告事項(活動状況)
・専門委員会組織の一部見直しについての報告
・平成28年度研究大会分科会テーマ、実施概要
・部会検討事項
・今後の運営

(5) 事業活性化部会

- | | | |
|-----|--|-------|
| 第1回 | 平成27年6月4日（木） 新潟県民会館 2階 第2会議室 | 委員9名 |
| | <ul style="list-style-type: none">・部会発足、運営について副部会長選任、部会検討事項、業務分担、運営事項、今後の予定 | |
| 第2回 | 平成27年10月27日（火） 東京文化会館 4階 小会議室1 | 委員10名 |
| | <ul style="list-style-type: none">・理事会審議事項、報告事項(専門委員会規程一部改正、活動状況)・部会検討事項・平成28年度研究大会分科会テーマ、実施概要・今後の運営、事務分担 | |
| 第3回 | 平成28年2月2日（火） 東京都中小企業会館 8階 C会議室 | 委員10名 |
| | <ul style="list-style-type: none">・理事会報告事項(活動状況)・専門委員会組織の一部見直しについての報告・平成28年度研究大会分科会テーマ、実施概要・部会検討事項・今後の運営 | |

B 研修事業

- 1 平成27年度全国、ブロック別 劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会
(E 文化庁委託事業1の(2)の項参照)
- 2 平成27年度全国、ブロック別 劇場・音楽堂等技術職員研修会
(E 文化庁委託事業1の(2)の項参照)

C 情報提供事業

- 1 「全国公立文化施設協会ホームページ(全国劇場・音楽堂等総合情報サイト)」
(<http://www.zenkoubun.jp>) による情報発信
 - ①(公社)全国公立文化施設協会の紹介(定款、役員名簿、会員名簿、会計報告、事業内容等)
 - ②発行資料の紹介(研修会報告書、全国公立文化施設名簿等)
 - ③文化庁委託事業[劇場・音楽堂等基盤整備事業(情報提供及び研修事業)]
 - ④政策・制度等
 - ⑤公立文化施設データベース(施設検索)
 - ⑥WEBサイト公演企画Navi
 - ⑦リンク(文化庁、会員施設、賛助会員等のホームページ)
 - ⑧平成27年度中のアクセス数 229,138件
- 2 「全国公文協情報フォーラム」(メールマガジン)による情報発信
- 3 安全管理・改修相談会「劇場・音楽堂等施設改修相談会」【新規】
- 4 人材育成事業(企画担当者)情報交換会「劇場・音楽堂等人材育成フォーラム」【新規】
- 5 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援
- 6 研修教材の編集・発行
(2から6については、「E 文化庁委託事業1の(1)の項」参照)

D 公立文化施設支援事業

- 1 平成27年度 松竹大歌舞伎 公演 合計 62館(109公演)
東コース
館数：23館 (42公演)
期間：平成27年6月30日～7月31日
演目：①引窓 ②四代目中村鴈治郎襲名披露 口上 ③連獅子
主な出演者：中村鴈治郎、中村扇雀、尾上松緑、坂田藤十郎 他
中央コース
館数：20館 (32公演)
期間：平成27年6月30日～7月31日
演目：①河内山 ②上 藤娘 下 芝翫奴
主な出演者：中村橋之助、中村兎太郎、中村国生 他
西コース
館数：19館 (35公演)
期間：平成27年8月31日～9月25日
演目：①引窓 ②四代目中村鴈治郎襲名披露 口上 ③連獅子
主な出演者：中村鴈治郎、市川左團次、中村扇雀、坂田藤十郎 他
- 2 平成28年度全国公立文化施設協会統一企画“松竹大歌舞伎”公演希望調査
公演実施計画館 合計 58館(104公演)
東コース 27館(50公演)、中央コース 12館(20公演)、西コース 19館(34公演)

E 文化庁委託事業

1 「劇場・音楽堂等基盤整備事業（情報提供及び研修）」

(1) 芸術文化情報提供事業

① 劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供

劇場・音楽堂等の事業、管理・運営、アートマネジメント及び舞台技術に関する情報や資料等を幅広く収集し整備した。それらの情報を、劇場・音楽堂等関係者や一般市民、学生等にも提供した。また来所者への直接対応とともに、電話、メール、郵便、ファックス等を活用して幅広く対応した。

ア 「全国公立文化施設協会ホームページ（全国劇場・音楽堂等総合情報サイト）」

(<http://www.zenkoubun.jp>) による情報発信

(C 情報提供事業1の項参照)

イ 「全国公文協情報フォーラム」（メールマガジン）による情報発信

第44号（平成27年4月15日発行）

第45号（平成27年5月15日発行）

第46号（平成27年6月11日発行）

第47号（平成27年7月15日発行）

第48号（平成27年8月12日発行）

第49号（平成27年9月15日発行）

第50号（平成27年10月15日発行）

第51号（平成27年11月13日発行）

第52号（平成27年12月15日発行）

第53号（平成28年1月15日発行）

第54号（平成28年2月18日発行）

第55号（平成28年3月15日発行） 別途、臨時号発行

ウ 安全管理・改修相談会「劇場・音楽堂等施設改修相談会」【新規】

自治体や施設管理者が抱える施設の老朽化に伴う安全管理、施設改修に関する課題を、専門家を交えて情報提供・意見交換し、正しい情報提供と理解を、設置者である自治体と運営者双方のペア参加により進める相談会を開催。

・期 日：平成27年9月7日(月)

・会 場：東京都中小企業会館

・内 容：第1部 全体相談会

①大規模改修のプロセス

②舞台設備改修

③特定天井の改修と定期調査報告制度

第2部 個別相談会（グループ相談会）

・参加者数：44館99名（設置者41名、運営者35名、直営22名、その他1名）

エ 人材育成事業(企画担当者)情報交換会「劇場・音楽堂等人材育成フォーラム」【新規】

劇場・音楽堂等における人材養成や専門人材確保への課題及び今後の方策について、関係者が一同に会して意見交換を行い、新たなに仕組みづくりを考える情報交換会を開催。

・期 日：平成28年2月5日(金)

・会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

・テーマ：劇場・音楽堂等の人材育成と専門人材確保における課題と新たな仕組みづくり

・内 容：基調講演、パネルディスカッション（報告7団体1大学）

・参加者数：119名

② 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援

ア 派遣型

劇場・音楽堂等に自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する専門家を派遣し、指導や助言を行った。また、地域全体で抱える課題解決についても、地域にエリアアドバイザーとして専門家を派遣する等、劇場・音楽堂等の活性化を支援した。

公立文化施設への支援員派遣	29件	29施設	
地域への支援員派遣	6件	30施設	計35件59館
派遣延べ回数	113回		
派遣支援員実数	32名		

イ 相談型

芸術文化活動にかかる相談について、電話、メール、直接対応等による相談を受け、内容に応じて相談者と専門家等をつなぐ等の相談対応を実施。

ウ FAQの作成

ア、イにより集められた問合せや対応をまとめ、ホームページに掲載。

③ 研修教材の編集・発行

ア 「ファンドレイジング・ハンドブック」の編集・発行

- ・劇場法の経営安定化に基づくファンドレイジングの概念を明らかにし、事例紹介に加え、ファンドレイジングの方法やきっかけづくりを戦略的に進めるための方策を紹介。
- ・2,700部

イ 「劇場・音楽堂等地域貢献ハンドブック2016」の編集・発行

- ・劇場法及び同指針において地域の文化拠点として求められている、地域貢献や社会的包摂活動に関する考え方をわかりやすく示すとともに、成果を挙げている事例を紹介。
- ・2,700部

(2) 研修事業

① アートマネジメント研修

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的として、アートマネジメントに関する研修を実施。

ア 全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会

- ・期 日：平成28年2月3日(水)～5日(金)
- ・会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・テーマ：文化力で地域と世界をつなぐ
- ・内 容：基調講演（歌舞伎俳優市川染五郎丈）外18プログラムを実施
- ・参加者数：813名(延3,018名)

イ ブロック別劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会

- ・会 場：全国7地区9施設で実施
- ・参加者総数：448名（283施設）

② 技術職員研修

劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識や技術の習得を図るため、研修を実施。

ア 全国劇場・音楽堂等技術職員研修会

- ・期 日：平成28年3月2日(水)～4日(金)
- ・会 場：彩の国さいたま芸術劇場
- ・テーマ：劇場と映像技術の進展
- ・内 容：基調講演（埼玉県芸術文化振興財団竹内文則理事長）外6プログラムを実施
- ・参加者数：155名

イ ブロック別技術職員研修会
会場全国 7地区7施設で実施
参加者総数 347名 (209施設)

③劇場・音楽堂等スタッフ交流研修

他の劇場・音楽堂等での実務研修、劇場・音楽堂等間における人材の交流研修及び大学との連携によるインターンシップを実施。27年度は、海外研修も新たに実施

ア 国内研修

(ア) 実務者派遣 2件

- ①大垣市スイトピアセンター⇒世田谷パブリックシアター
- ②都城市総合文化ホール⇒静岡音楽館A0I

(イ) 相互実務研修派遣 5件

- ①②宇部市渡辺翁記念会館・文化会館⇄舞鶴市総合文化会館
- ③④⑤さいたま市文化振興事業団⇄千葉県文化振興財団⇄調布市文化・コミュニティ振興財団

(ウ) インターンシップ 2件

- ①玉川大学⇒彩の国さいたま芸術劇場
- ②広島大学⇒りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館

イ 海外研修【新規】

(ア) 期日 平成27年11月29日～12月7日

(イ) 交流先 (英国)

- ①ダンディ・レップ・シアター (ダンディ) ②シェフィールド・シアター (シェフィールド) ③ウエスト・ヨークシャー・プレイハウス (リーズ) 外 計8施設

(ウ) テーマ

- ①2020年オリンピック文化プログラム及び以降を目指した取組事例の収集
- ②地域貢献活動事例収集
- ③現地スタッフとの交流

(エ) 派遣者 7名 (公募32名より選出)。他に、オブザーバー参加5名

2 「文化の力による心の復興事業」に必要な連携協力体制の構築業務 (文化芸術による復興推進コンソーシアム)

(1) 業務の目的

地域の特性を生かした地域文化の再生やコミュニティの再構築による地域の活性化を推進し、東日本大震災の被災地の復興に寄与する「文化の力による心の復興事業」をより効果的に行うため、行政機関、芸術家、芸術団体、文化施設、助成団体、企業、芸術系大学及びボランティア等の連携協力により設立した「文化芸術による復興推進コンソーシアム」の管理・運営等に当たる。

(2) 業務の期間 平成27年4月9日から平成28年3月31日まで

(3) 業務実施結果報告

ア コンソーシアムの管理・運営

コンソーシアムの活動に関する企画立案・検討を行うとともに、コンソーシアムの運営に関し重要な事項を審議する運営委員会を定期的開催した。また、コンソーシアムの趣旨に賛同の意を表明し登録した個人や団体との連絡調整を行った。

(ア) 事務局会議の開催

(イ) 運営委員会の開催

(ウ) 賛同団体（者）登録

(エ) 呼びかけ人へのご挨拶

イ 被災地における復興推進活動に関する情報収集及び発信

被災地における文化芸術団体・民俗芸能団体の活動状況や被災地の住民の文化芸術に関する要望、行政機関・助成財団・企業等が行う助成等に関する情報、被災地の文化施設の復興状況及び活動に関する情報等、復興推進活動に関する情報を収集・整理した。

また、情報通信技術（Web サイト、Facebook、Twitter、メールマガジン等）も活用しながら、収集した被災地の復興推進活動に関する情報を提供・発信した。

(ア) 平成 27 年度 ウェブサイトの訪問数（アクセス数）

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月末 計 96,147 件 月間平均 8,012 件

(イ) Facebook の「いいね」の数 平成 27 年 4 月当初 2,070 件⇒平成 28 年 3 月末 2,811 件

ウ 被災地における文化芸術事業の企画等の支援（東北センターの活動）

(ア) 復興推進コンソーシアムの東北拠点による取組の強化

(イ) プロジェクト創出事業の推進

- ・民俗芸能を継承するふくしまの会への支援・協力
- ・石巻市教育委員会複合文化施設開設準備室への支援・協力

エ その他、業務の趣旨に必要な事業

- ・コンソーシアムの検証と今後の在り方について アンケートの実施（運営委員・関係者）
- ・コンソーシアム「5年間の記録と今後に向けて」作成 2,000部
- ・文化芸術による復興推進に係る事業への共催、後援、協力等 8件
- ・文化芸術による復興推進に係るイベント協力、広報活動等への参画 15件
- ・賛同団体、助成団体との情報交換・相互協力など連携の強化 14件

II 法人会計（法人運営）

1 理事会

第1回 平成27年5月20日（水） 東京都中小企業会館 9F 講堂（東京都中央区銀座2-10-18）

- (1) 定款第32条第2項により、議長に田村孝子副会長を選出。
- (2) 理事現在数13名、出席理事11名、定款第33条第1項による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- (3) 議事録署名人として、定款第34条第2項により田村孝子副会長と木村匡成監事を確認。
- (4) 次の事項を審議し、可決承認された。

①平成27年度定時総会付議議案について

第1号議案 平成26年度事業報告について

第2号議案 平成26年度会計決算報告並びに監査報告について

第3号議案 任期満了に伴う理事の選任候補者14名について

第4号議案 任期満了に伴う監事の選任候補者2名について

第5号議案 東日本大震災に伴う会員被災館（一部）の平成27年度年会費の免除（案）について

②平成27年度定時総会の日時、場所、議題の決定

平成27年度 担当支部は関東甲信越静岡支部、開催地は新潟県新潟市

日時 平成27年6月4日（木）午後1時30分から

会場 新潟県民会館 小ホール

議題 第1号議案 平成26年度事業報告

第2号議案 平成26年度会計決算報告並びに監査報告

第3号議案 任期満了に伴う理事の選任

第4号議案 任期満了に伴う監事の選任

第5号議案 平成27年度年会費の免除（案）

③支部規程第5条第2項に基づく支部長の承認について

④専門委員会規程の改正について

⑤専門委員会 役員の選任及び承認について

⑥平成28年度定時総会・研究大会の日時及び場所の決定について

日時 平成28年6月9日（木）から6月10日（金）

開催場所 函館市市民会館（函館市湯川町1丁目32番1号）

⑦定款第6条に基づく新規入会の承認（正会員・準会員・賛助会員）について

⑧支部の平成27年度活動費配付額決定について

(5) 次の事項が報告された。

①7支部からの活動状況報告

②3委員会からの活動状況報告

③専門委員会の発足について

④後援名義等の使用報告

⑤平成27年度文化庁委託事業の受託

⑥代表理事、業務執行理事の業務執行状況報告

臨時理事会 平成27年6月4日（木） 新潟県民会館 2階 会議室3

（新潟市中央区一番堀通町3-13）

- (1) 定款第32条第2項により、議長に田村孝子副会長を選出。
- (2) 理事現在数14名、出席理事11名にて、定款第33条第1項による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- (3) 議事録署名人として、定款第34条第2項により田村孝子副会長と木村匡成監事を確認。
- (4) 次の事項を審議し、可決承認された。

会 長 日 枝 久
副 会 長 田 村 孝 子
専務理事 松 本 辰 明
常務理事 筒 井 宏 守

第 2 回 平成27年10月27日（火） 東京文化会館 4階 大会議室（東京都台東区上野公園5-45）

- (1) 定款第32条第2項により、議長に田村孝子副会長を選出。
- (2) 理事現在数14名、出席理事13名にて、定款第33条第1項による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- (3) 議事録署名人として、定款第34条第2項により田村孝子副会長と木村匡成監事及び和氣正典監事を確認。
- (4) 次の事項を審議し、可決承認された。
 - ①定款第6条に基づく新規入会（正会員・準会員・賛助会員）の承認について
 - ②専門委員会規程の一部改正について
- (5) 次の事項が報告された。
 - ①7支部からの活動状況報告
 - ②専門委員会からの活動状況報告
 - ③後援名義等の使用承認報告
 - ④平成27年度の主な協会事業
 - ⑤平成27年度の主な文化庁事業
 - ⑥代表理事、業務執行理事の業務執行状況報告
 - ⑦全国公立文化施設協会 研修員受入制度並びに平成28年度受入募集
 - ⑧平成28年度支部運営費の配付額決定基準
 - ⑨全国公立文化施設協会の今後の事業等日程

第 3 回 平成28年2月2日（火） 東京都中小企業会館 9F 講堂

（東京都中央区銀座2-10-18）

- (1) 定款第32条第2項により、議長に田村孝子副会長を選出。
- (2) 理事現在数14名、出席理事11名にて、定款33条第1項による定足数を満たし、本理事会が有効に成立している旨の報告がある。
- (3) 議事録署名人として、定款第34条第2項により田村孝子副会長を確認。
- (4) 次の事項を審議し、可決承認された。
 - ①平成28年度事業計画（案）について
 - ②平成28年度収支予算（案）について
 - ③平成28年度資金調達および設備投資の見込みについて
 - ④定款第6条に基づく新規入会（正会員・賛助会員）の承認について
- (5) 次の事項が報告された。
 - ①後援名義等の使用承認の報告
 - ②7支部からの活動状況報告
 - ③専門委員会からの活動状況報告
 - ④専門委員会の一部見直しについて
 - ⑤平成28年度定時総会・研究大会（函館大会）の開催案内
 - ⑥平成29年度定時総会・研究大会（九州大会）の開催予告
 - ⑦代表理事、業務執行理事の業務執行状況報告
 - ⑧文化庁委託事業について
 - ⑨協会事業について
 - ⑩全国公立文化施設協会の今後の事業等日程

2 定時総会

日時 平成27年6月4日（木） 午後1時30分～午後2時02分

会場 新潟県民会館 小ホール（新潟市中央区一番堀通町3-13）

- （1）司会進行者松本専務理事が開会宣言。
- （2）定款第15条により、議長に大島公子理事（佐賀市文化会館）を選出。
- （3）出席正会員963名（議決権を有する総正会員数1,257名、出席正会員136名、委任状出席正会員827名）で定款第17条による定足数を満たし、本総会が有効に成立している旨の報告がある。
- （4）議事録署名人として、定款第19条により大島公子議長と、正会員の中から筒井宏守氏（東京文化会館）1名を確認。
- （5）次の事項を審議し、可決承認された。
 - 第1号議案 平成26年度事業報告について
 - 第2号議案 平成26年度会計決算報告並びに監査報告について
 - 第3号議案 理事14名の選任について
 - 第4号議案 監事2名の選任について
 - 第5号議案 平成27年度年会費の免除（案）について

3 平成27年度会員入会状況

①支部別正会員施設数

地区	平成26年度決算	平成27年3.31付 退会	平成27年度 入会	平成27年度
北海道	47	0	0	47
東北	145	2	4	147
関東甲信越静	390	4	7	393
東海北陸	161	1	6	166
近畿	174	6	8	176
中四国	161	4	5	162
九州	187	2	3	188
計	※1,265	19	33	※1,279

※5館免除

②準会員数

平成26年度決算	平成27年3.31付 退会	平成27年度 入会	平成27年度
10	0	3	13

③賛助会員数

平成26年度	平成27年3.31付 退会	平成27年度 入会	平成27年度
団体70(80口) 個人1(1口)	団体3(3口)	団体7(7口)	団体74(84口) 個人1(1口)

注：1会員あたり複数口の申込みが可能なため会員数と口数は一致しない

正会員

No	都道府県	コードNo.	施設名	入会承認日
1	宮城県	041427	角田市市民センター	H27. 10. 27
2	秋田県	052514	鹿角市文化の杜交流館 コモッセ	H27. 5. 20
3	山形県	060186	村山市民会館	H27. 5. 20
4	山形県	062511	南陽市文化会館	H27. 5. 20
5	埼玉県	112509	戸田市新曽南多世代交流館	H27. 5. 20
6	埼玉県	112510	富士見市立ピアザふじみ	H27. 5. 20
7	東京都	132375	豊島区立舞台芸術交流センター	H27. 10. 27
8	神奈川県	142424	神奈川芸術劇場	H27. 10. 27
9	長野県	202501	上田市交流文化芸術センター	H27. 5. 20
10	長野県	202512	長野市芸術館	H27. 5. 20
11	長野県	211615	飯田文化会館	H28. 2. 2
12	富山県	162369	南砺市城端伝統芸能会館	H27. 2. 17
13	岐阜県	210734	中津川市中津川文化会館	H27. 2. 17
14	岐阜県	212527	ぎふ清流文化プラザ	H27. 10. 27
15	愛知県	230815	アイプラザ一宮	H27. 5. 20
16	愛知県	232508	名古屋市瑞穂文化小劇場	H27. 5. 20
17	三重県	241763	四日市地域総合会館あさけプラザ	H27. 5. 20
18	滋賀県	250853	大津市民会館	H27. 2. 17
19	滋賀県	252506	草津市立草津クリアホール	H27. 5. 20
20	大阪府	271824	堺市立西文化会館	H27. 5. 20
21	大阪府	271827	豊中市立ローズ文化ホール	H28. 2. 2
22	大阪府	272513	テクスピア大阪	H27. 5. 20
23	兵庫県	280981	加東市東条文化会館	H27. 5. 20
24	兵庫県	281846	加東市滝野文化会館	H27. 5. 20
25	兵庫県	282332	神戸市立北須磨文化センター	H27. 5. 20
26	広島県	342517	東広島芸術文化ホール	H27. 10. 27
27	山口県	352507	下関市生涯学習プラザ	H27. 5. 20
28	山口県	352518	周南市学び・交流プラザ	H27. 10. 27
29	徳島県	362515	徳島市文化振興施設	H27. 10. 27
30	香川県	371183	人形劇場とらまる座	H27. 10. 27
31	福岡県	402534	久留米市田主丸複合文化施設 そよ風ホール	H27. 10. 27
32	佐賀県	412516	嬉野市社会文化会館	H27. 10. 27
33	熊本県	432519	熊本産業展示場	H27. 10. 27

準会員

No	都道府県	コードNo.	個人・団体・施設名	入会承認日
1	茨城県	J088007	水戸市	H27. 5. 20
2	新潟県	J158006	公益財団法人新潟県文化振興財団	H27. 5. 20
3	石川県	J176007	寺島蔵人邸	H27. 10. 27

賛助会員

No	都道府県	個人・団体名	入会承認日
1	宮城県	株式会社ニュース・プロモーション	H27. 10. 27
2	東京都	株式会社タムラ製作所	H27. 2. 17
3	東京都	株式会社エピキュラス	H27. 5. 20
4	東京都	ひばりプロダクション	H27. 5. 20
5	東京都	株式会社アイエス	H27. 10. 27
6	東京都	株式会社マリナックス	H28. 2. 2
7	岡山県	グッドラック・プロモーション株式会社	H27. 2. 17

4 平成26年度退会状況(参考)

正会員

No	都道府県	施設名	退会日	退会理由
1	秋田県	湯沢市雄勝文化会館	H27.3.31	財政事情のため
2	山形県	南陽市民会館	H27.3.31	閉館のため
3	埼玉県	埼玉県熊谷会館	H27.3.31	閉館のため
4	東京都	一般財団法人 日本青年館	H27.3.31	解体、移転のため
5	神奈川県	神奈川県立かながわ女性センター	H27.3.31	移転のため
6	長野県	上田市民会館	H27.3.31	閉館のため
7	岐阜県	北方町生涯学習センター きらり	H27.3.31	財政事情のため
8	滋賀県	しが県民芸術創造館	H27.3.31	指定管理者の変更
9	滋賀県	湖南市甲西文化ホール	H27.3.31	事業等への参加機会の減少
10	大阪府	大阪市立大阪城音楽堂	H27.3.31	事業等参加の機会減少
11	大阪府	堺市立美原文化会館	H27.3.31	指定管理者の導入
12	大阪府	大阪府立中央図書館	H27.3.31	指定管理者の導入
13	和歌山県	橋本市民会館	H27.3.31	他社保険に加入の為
14	島根県	出雲ドーム	H27.3.31	諸般の事情
15	岡山県	建部町文化センター	H27.3.31	指定管理者の導入
16	広島県	三次市文化会館	H27.3.31	閉館のため
17	徳島県	徳島市立文化センター	H27.3.31	閉館のため
18	長崎県	長崎市公会堂	H27.3.31	閉館のため
19	鹿児島県	出水市文化会館	H27.3.31	財政事情のため

賛助会員

No	都道府県	施設名	退会日	退会理由
1	東京都	株式会社EVENTIFY	H28.3.31	事業方針転換のため
2	東京都	ソニーピーシーエル株式会社	H27.3.31	事業変更に伴う参加機会の減少
3	大阪府	相愛大学音楽学部音楽マネジメント学科	H28.3.31	諸般の事情

Ⅲ 収益事業

1 団体保険制度の概要（正会員・準会員）

(1) 公立文化施設賠償責任保険・公立文化施設災害補償保険

① 公立文化施設賠償責任保険（施設所有（管理）者賠償責任保険）

文化施設の設置、管理、運営に原因がある人身事故、物損事故等に対して、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償。

② 受託者賠償責任保険

展示会等で第三者から預かった受託物・展示品の破損等で被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償。

③ 自動車管理者賠償責任保険

利用者駐車場に預かった自動車の破損等で被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償。

④ 指定管理者特約（指定管理者向けオプション）

管理動産特約・管理不動産特約・情報漏えい賠償責任補償特約の3つの補償を組み合わせた特約。

⑤ 公立文化施設災害補償保険（レジャー・サービス施設費用保険）

管理する文化施設において発生した事故への対応で実際に負担した費用および事故の被災者への見舞金等を補償。

⑥ マネー包括保険（オプション）【平成27年度新設】

被保険者が管理する現金、有価証券に生じた盗難、火災等の損害を補償。

⑦ マスターキー再作製費用等補償特約（オプション）【平成27年度新設】

被保険者が管理する施設で使用している鍵を紛失してしまい、鍵を交換するために要する費用を補償。

(2) 公立文化施設自主事業中止保険（興行中止保険）（正会員のみ）

主催する屋内の自主事業が偶然の事故により中止になった場合、負担した費用等を補償。

(3) 公立文化施設貸館対応興行中止保険（正会員のみ）

正会員施設の貸出区画または貸出区画が属する建物が焼失、損傷または汚損し、貸出区画の利用の中止を余儀なくされたとき興行を予定していた法人、団体等に発生した費用および「補償規定」に則り正会員施設から当該利用者に対して支払った見舞金を補償。

(4) 社団法人・財団法人向け役員賠償責任保険

法人の役員（被保険者＝理事・監事）が役員としての業務で行った行為に起因して、損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対して補償。

2 平成27年度公立文化施設制度保険加入状況

(1) 賠償責任保険・災害補償保険(正会員)

	加入件数	保険料	事故件数	支払保険金額
賠償責任保険	906	83,026,130	58	46,190,915
災害補償	693	25,272,900	73	2,348,000
計		108,299,030	131	48,538,915

(円)

(円)

(2) 自主事業中止保険(正会員)

	加入件数	保険料	事故件数	支払保険金額
自主事業	130	9,979,500	0	0

(円)

(円)

(3) 貸館対応興行中止保険(正会員)

	加入件数	保険料	事故件数	支払保険金額
興行中止	206	26,378,750	0	0
約定履行	133	6,180,890	0	0
計		32,559,640	0	0

(円)

(円)

(4) 役員賠償責任保険(正会員)

	加入件数	保険料	事故件数	支払保険金額
賠償責任保険	19	2,100,330	0	0
計		2,100,330	0	0

(円)

(円)

(5) 賠償責任保険・災害補償保険（準会員）

	加入件数	保険料
賠償責任保険	4	300,970
災害補償	3	17,960
計		318,930

(円)

事故件数	支払保険金額
0	0
0	0
0	0

(円)

保険合計

加入件数	保険料
	153,257,430

(円)

事故件数	支払保険金額
	48,538,915

(円)